

平成27年度 第2回・第3回 産業廃棄物管理責任者講習会 受講案内

平成23年4月改正廃棄物処理法が施行し、処理状況の確認や、建設廃棄物の処理責任など、排出事業者の責任は更に強化される状況の中、企業においては、廃棄物に対する社会的責任（CSR）や資源化などへの取り組み意識が高まっております。

一方、東京都廃棄物条例では、産業廃棄物の減量及び適正な処理を図るため、各事業場ごとに、廃棄物の処理について十分な知識を有する管理責任者を選任しなければならないと定めています。

このような状況を踏まえ、本講習は、産業廃棄物管理責任者として排出事業者の責任等に関する理解を深め、その責務が果たせるよう人材育成を目的として開催するものです。

受講対象

東京都廃棄物条例に基づく、「産業廃棄物管理責任者」（業務に従事する方も含みます）

開催日程及び会場（予定）

コース	開催日	会場
オフィスビル 商業施設等系	平成 27 年 7 月 14 日 (火)	満席のため、申込受付を終了しました
	平成 27 年 11 月 12 日 (木)	東京都トラック総合会館 7 階 大会議室 (東京都新宿区四谷3-1-8) *駐車場の用意はありません。 公共交通機関等をご利用ください。 *会場内での飲食はご遠慮願います。
建設系	平成 27 年 9 月 30 日 (水)	
	平成 28 年 2 月上旬	東京都庁(東京都新宿区西新宿2-8-1) 又は、都内会場
定員数	各回 80 名程度	受講費用 6,480 円
* 先着順に申込の受付を行います。		* テキスト代・資料代（消費税込）

* 申込みの受付は開催日の2カ月前に（会場が決定次第）東京都環境局及び東京都環境公社のホームページにてご案内します。

講習会カリキュラム（予定）

9:30	10:00	12:00	13:00	14:30	14:40	15:40	15:50	16:40
受付	I 循環型社会の形成を推進するための体系と廃棄物処理法の概要 ・循環型社会形成推進のための枠組み ・廃棄物処理法の概要 ・廃棄物の定義	昼休憩	III 産業廃棄物管理責任者の実務 ・産業廃棄物管理責任者の選任と実務 ・信頼できる処理業者の選定 ・マニフェストの管理 ・産業廃棄物処理の不適正事例	休憩	建設系コース V 建設廃棄物の適正処理とリサイクルの推進 ・建設リサイクル法と廃棄物処理法の関係 ・建設工事における排出事業者（資料編） ●産業廃棄物事業場外保管届出様式	休憩	◇確認テスト ・解答と解説	
	II 排出事業者の責務 ・排出事業者責任強化の変遷 ・産業廃棄物の保管と処理 ・措置命令、罰則規定 (資料編) ●許可証の写し ●マニフェスト関連の報告様式等 ●産業廃棄物処理計画書		IV 東京都の産業廃棄物対策 ・東京の産業廃棄物の現状 ・東京都廃棄物処理計画(概要) (資料編) ●廃棄物データシート ●モデル契約書 ●優良性基準適合認定制度（東京都）自己評価表項目例 ●特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書様式		オフィスビル等系コース VI オフィスビル等廃棄物の適正処理とリサイクルの推進 ・オフィスビル等から排出される廃棄物 ・オフィスビル等廃棄物の処理体系 ・廃棄物管理責任者の役割			
							◇修了証 (カード) 交付	

申込みから修了証交付までの流れ



* 受講費用のお振込先の口座は、お申込み後の受付確認メール(受付確認票)に記載されております。

参加人数分の合計金額を、開催日の1週間前までにお振込ください。

なお、振込手数料は申込者の負担となります。

* ご入金後の受講日変更及びお取り消しはできません。ただし、出席者の変更は可能です。その際はご連絡ください。

当日必要なもの

- 1 受付確認メール(受付確認票)を印刷したもの(当日受講時に提示していただきます)
- 2 筆記用具(テキストは当日会場にてお渡しいたします)

講習会修了証の交付

- 本講習会は、全科目を履修し確認テストを受けることにより、修了となります
- 修了者には、講習会修了証(カード)が交付されます

申込み先・問合せ先

申込み先

公益財団法人 東京都環境公社

<http://www.tokyokankyo.jp/>

TOPページ

産業廃棄物管理責任者講習会

申込フォーム

* お申込み時にいただいた個人情報につきましては、本講習会の連絡等および当社の情報提供や案内等に利用させていただきます。

問合せ先

公益財団法人 東京都環境公社

環境事業部 環境事業課

TEL 03-3634-4030

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-26-5
東京トラフィック錦糸町ビル8階



公益財団法人 東京都環境公社は、環境負荷の少ない都市の実現を目指しています。

R100

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
石油系溶剤を含まないインキを使用しています。